

2012年度事業報告書 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン都筑

今年度は WE ショップつづきができて10年の記念の年となりました。今まで支援して下さった会員、ボランティア、寄付を持ってきてくださる方やお客様に感謝するとともに一緒にお祝いをすることが出来ました。10周年を機に、さらに活動の充実をめざしていききたいと、県指定 NPO 法人を取得しました。これにより、WE21 ジャパン都筑への寄付を広げ、国際支援活動の充実をめざします。申請にあたっては、活動への支持を示す署名活動を行い、短期間で120筆もの賛同を得たのも、これまでの活動の成果です。今後への励みにしていきたいと思えます。

組織活動

1) 組織運営

組織事務局の設置は出来ませんでした。事務局の仕事を運営委員会で分担して行いました。組織事務に関して代表一人から複数の視点で行えるようになったことは成果です。とはいえ、県指定 NPO に申請後は、さらに事務局の役割は重要になってきます。組織ボランティアも参加がありましたが、後半働きかけが弱く、参加の機会が減ってしまいました。

2) 寄付の仕組みを作る

地域での活動を多く行った結果、市民団体からの寄付5万円があり、カンボジアの女性自立センター支援に活かしました。その他の個人寄付は募金に留まりました。県指定 NPO 法人の取得に伴い、寄付を受けやすい環境を整えたので、積極的に呼びかけていきます。

3) 会員

2年連続未納者の退会を含め脱退4名、加入3名で、3月末現在30名。ボランティアを中心に新規加入もありましたが、目標35名には届きませんでした。

事業報告

1 リユースリサイクル事業

1) 「WEショップつづき」を運営しました。

①売上	6,410,812	(目標6,300,000円 達成率101.8% 前年度比97.0%)
②営業日数	284日	(前年279日)
③ボランティア登録	21人(前年21人)	月平均55人(目標70人)
④提供者数	延べ2,018人(前年2,062人)	新規提供者 168人(前年187人)
⑤企画	毎月最終金曜日	金よう市(いわき応援分け合い市同時開催)
	5月	周年セール
	7月	夏の半額セール

9月	バッグフェア
10月	貧困なくそうキャンペーン
12月	冬の半額セール
1月	初売り
2月	着物フェア
3月	手芸用品フェア

2) 10周年を迎えた本年度の特徴としては、次の点があげられます。

- ①年3回のセールで、売上の20%を支援に充てることを訴えかけ、単なるリサイクルショップではないことを伝えることができました。
- ②店舗の認知度を上げるため広報をさらに強化し、ボランティアによるチラシ配布に加えて、ミニコミ誌に フェア、セールの告知記事を掲載しました。(計4回)
一般紙にも折込チラシを依頼しました。(計2回)
- ③社会情勢の変化のせいか、前年度に比して、顧客数、寄付品提供者数、新規提供者数とも減少しましたが、常連客が増え、認知度は上がっています。
- ④本年度も、区民活動センターやかけはし都筑を有効利用すると同時に、寄付品提供者やボランティア希望者の紹介を受けることができました。
- ⑤地域のイベントなどに出ることにより、地域の市民グループや保育所などにもショップの存在が認知され、バザー後の寄付品の提供がありました。
- ⑥ショップ事務局も3人体制になり、健全なショップ経営をすることができました。
- ⑦年3回、ボランティアミーティングを開催して、ボランティア間の親睦を深めると共に、ショップの実務につながる研修を行なうことができました。
- ⑧顧客や地域の人たちとのふれあいに努めました。
- ⑨新規ボランティアが1名増えました。
- ⑩様々な事情によりショップに入れるボランティアが、実数、延人数とも減少し、本年度も常時複数体制はできませんでした。
- ⑪本年度もボランティア保険に加入しました。
- ⑫ストックを潤沢にするため、また、上質の見切り品を有効活用するため、他のWEショップや、エコものセンターとのトレードを活用しました。
- ⑬品物の整理と処分品削減のため、毎月最終金曜日に金よう市を開催しました。
- ⑭本年度も、ジンジャーティやカピタコ・コーヒーなどのフェアトレード品を販売し、売上も増加しました。
- ⑮WE 21 ジャパングループの一員として、今年度新たに、家庭での使用済み食用油の回収に取組み、「WE 油田つづき」を開設しました。
- ⑯昨年度に引き続き、故繊維業者「ナカノ」が開発したエコ手袋を販売し、故繊維の利用を進めると共に、ガラスリサイクル業者「飯室商店」を通じてガラス器のリサイクルにも努めました。陶器については、昨年度の仲介者「カイエンタイグローバルサービス」が活動を休止したため、新たに「井上商店」を通じて陶器リサイクルの継続を進めています。
- ⑰本年度新たに、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃのリサイクル」受付日を設け、おもちゃのリサイクル事業を試験的に立ち上げました。

⑩ 10周年事業の一環として、来店者やボランティアに呼びかけて、みんなの力で「WE ショップつづき」のキルトを作り、参加型のショップを印象づけることができました。

2 民際支援事業

1) カンボジア 子どもの人身売買、出稼ぎ防止事業の支援を継続しました。

助成団体 特定非営利活動法人 国際子ども権利センター

支援金額 16万円

報告書及び、スタディツアー報告を検討し、点検評価をしました。女子を対象にした就学支援はなくなりましたが、出稼ぎに行かなくても良い環境作りのための収入支援事業や、村や学校での啓発活動は、持続的な支援に繋がるとして継続を決定しました。

2) フィリピン

助成団体 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン

コーディネータ・グリーン・ネットワーク (CGN)

支援金額 15万円

報告書及びコーヒーの森支援連絡会での情報を元に検討し、点検評価をしました。現地の組織化が進み、自立に向けた取り組みがすすんでいることを確認し、苗木が育つまでの支援の必要性も確認して継続を決定しました。

3) カンボジア コンボンチャム女性自立訓練センターへ、支援をしました。

助成団体 貧困を軽減する経済発展協会

支援金額 75,000円

楠木立成氏の講演をきっかけに女性自立訓練センターへの支援を決定しました。

貧困格差が広がるカンボジアで、政府からの資金も途絶えたままの自立センターの支援を通じて、女性たちの自立に協力したいと、貧困キャンペーンの売上と募金による支援を決定しました。

その後、地域の市民団体 W.Co 円からの寄付が5万円あり、合計75000円を送りました。

貧困キャンペーン売上 20,280円

募金 4,720円

4) フェアトレード品の販売を通じ、現地のひとたちの自立支援と公正貿易をアピールします

フェアトレード売上目標18万円

ジンジャーティ、コーヒー、カンボジアの織物など、フェアトレード販売を行いました。

ジンジャーティやコーヒーの産地や、カンボジアの自立訓練センターの写真をパネルにし、現地の活動などを紹介しました。

ジンジャーティでは試飲や、イベントでの販売等を行いました。さらに広報の工夫が必要です。

フェアトレード売上 222,640円

5) 震災支援について変化する現地の事情に配慮しながら、継続をしました。

現地の生産者を支援していくため、金よう市での販売を継続しました。秋からは、休耕

圃場の活用として始まったコットンプロジェクトを支援、コットンベイブの販売を行いました。

物産販売収益、震災募金合わせて13498円をいわきのNPO法人ザ・ピープルのコットンプロジェクトに寄付をしました。

いわき震災支援物品売上金額 337,685円

3 共育事業

- 1) 10周年記念事業を通じて、WE21ジャパン都筑の活動をより多くの人たちに伝えることが出来ました。

8月5日(日)交流スペースSENCEで記念交流会を開催しました。

内容：楠木立成氏の講演。みんなdeキルトのお披露目。会食。

講演は、カンボジアの女性自立支援センターへの支援や、フェアトレードの再開に繋がりました。

みんなdeキルトは、6月から、参加呼びかけに応じ、たくさんのひとが、一片ずつ持ち寄り、一緒に祝いながら、仕上げました。交流会でお披露目後はショップでも展示、10周年を来店者に印象づける効果がありました。

1年間かけて、内外に10周年をアピールし、多くの方とともに祝うことが出来、新たなスタートへの力となりました。

- 2) 民際支援や環境について理解を深める場として「WE講座」を開催しました。

開催 2回

5/20「コーヒーの森事業の今」

会場：つづきMYプラザ 講師：海田祐子 参加 11名

8/5 「カンボジア難民としての体験と、女性自立支援センター支援について」

会場：交流スペース SENCE 講師：楠木立成氏 参加 30名

- 3) 貧困なくそうキャンペーンに参加しました。

「カンボジアへの理解を深める」をテーマに10/13~17を貧困なくそうアピール週間として実施しました。

カンボジアの写真を募集して店内に展示。カンボジア紹介パネルの展示とクイズを行い、来店者に参加してもらいました。

10/17の売上は女性自立訓練センターへ寄付しました。

売上 20,280円

- 4) スタディツアー・現地調査などに参加し、現地での活動を共有しました。

○シーライツカンボジアスタディツアーに1名が参加し、点検評価に活かすとともに、現地の様子を広報などで伝えました。報告会の開催2/23 7名

○いわきオリーブプロジェクト援農ツアーに2名が参加。HPでの報告などにより、より身近に感じる事が出来ました。

- 5) 地域のイベントに参加しWE21ジャパン都筑の活動を紹介したり、地域との交流を深めました。

○11月区民まつり 11/3に開催。いわきの物販販売、ジンジャーティの販売などを行い、その収益をザ・ピープルに寄付しました。

- 2月加賀原ネットカフェ 5月に延期になりました。
- 3・11震災イベント 3/10に開催。炊き込みご飯、ジンジャーティ、コットンペイブの販売をし、その収益をザ・ピープルに寄付をしました。
- つづき人交流フェスタ 3/17に開催。カンボジアの手作り品を販売しながら、WE21ジャパン都筑の活動を紹介しました。
- 夢スタジオ盆踊り(7/20)
- シニアハウスカフェ(7/27、9/24)
- 子育て地藏まつり(9/16)
- WCBの総会で、WE21ジャパン都筑の活動紹介を行いました。

4 広報宣伝事業

- 1) WEニュースを発行し、WE21ジャパン都筑の活動を紹介しました。
発行回数 3回 各200部 会員、地域の関係者、来店者に配布しました。
区内の地域拠点への配布は、区民活動センター、つづきMYプラザに留まりました。
10月発行の貧困なくそうキャンペーン特集号を生活クラブ生協に組み込み依頼をしました。 1150部
- 2) 都筑のメールアドレスを取得し、情報の受発信をしやすくしました。会員等へのニュースの発行にパソコンメールによる配信を始めました。
- 3) HPの一部見直しを行い、わかりやすい内容に改良しました。さらに継続して改良します。県指定NPO法人取得に向け、団体概要を載せ、情報公開をすすめました。
- 4) リーフレットやミニチラシなど、WE21ジャパン都筑の活動を紹介する配布物を作成し広めます。
- 5) セールやフェアのチラシを作成し、ボランティアを通じて地域に配布しました。
10周年セール 6500部
着物フェア 6500部
- 6) ミニコミ誌や地域誌を活用し、より多くの人に情報を提供します。
ミニコミ誌2回 新聞折り込みで新しい地域に広報しました。2回

5 その他事業

- 1) WE21ジャパンのネットワークを活かし、運営に活かしていきます。
○マネージメント会議、経営会議へ参加し、WE21ジャパングループの活動を共有するとともに、組織運営に活かしました。
○研修、講座等への参加
スタッフ中級研修 参加 2名
NPO会計学習会 参加 1名
監査学習会 参加 1名
ジェンダー学習会参加 1名
食料デー学習会「スモールマーケットの可能性について」 参加 2名
コーヒーの森事業現地スタッフ報告会 参加 2名
○地域NPOとの連携

コーヒーの森支援連絡会、カンボジアスタディツアーに参加しました。

カンボジア女性自立訓練センターの支援について、WE 2 1 ジャパンひらつかと情報を共有しました。

2) 地域通貨「リーフ」を活用し、地域のボランティア活動を応援しました。

3) 今年度も研修生の受け入れをしました。

○6月～8月週1回 1名（ワーコレ協会）

○夏休み学生ボランティア体験 1日3名 2日1名（つづきMYプラザ）

○中学生の社会実習の受け入れ 1／2 2, 2 3 ショップ体験とともに環境学習も行いました。（荏田南中学校）